記者発表資料

平成２０年７月１４日
東 北 地 方 整 備 局

入札監視委員会第二部会第１回定例会議（６月３０日）の審議概要について

～抽出案件８件を審議、意見の具申・勧告はなし～

平成２０年度東北地方整備局入札監視委員会第二部会第１回定例会議が６月３０日（月）、東北地方整備局で開催されました。

定例報告では、平成１９年１２月１日～平成２０年３月３１日までを対象とした事案（①工事、コンサルタント業務、役務の提供等・物品の製造等の総契約件数、②指名停止措置、③談合情報、④一位不動状況、⑤低入札状況）の報告を行いました。

議事では、委員により抽出された案件８件の審議が行われ、委員からの意見の具申・勧告事項はありませんでした。

○審議概要は別紙のとおりです。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問 い 合 わ せ 先

国土交通省　東北地方整備局
仙台市青葉区花京院一丁目１番２０号　　TEL (022)716-0013（ダイヤルイン）

契 約 管 理 官　　佐 々 木 繁 良（内線６２２１）
経理調達課課長補佐　　高 木 義 光（内線６５５４）

東北地方整備局　入札監視委員会（第二部会）審議概要

開催日及び場所	平成２０年　６月３０日（月）東北地方整備局会議室
委員	部会長　　佐々木　公明（尚絅学院大学学長） 部会長代理　三輪　佳久　（弁護士） 委　員　　真野　明　　（東北大学大学院工学研究科教授）
審議対象期間	平成１９年１２月　１日～平成２０年　３月３１日

総抽出案件		総件数　８件	入札・契約手続きの方式
工事	抽出案件	件数　５件	（工事）
	一般競争（WTO対象）	０件	・一般競争（ＷＴＯ）：工事規模が７億２千万以上の工事
	一般競争（WTO対象外）	５件	・一般競争（ＷＴＯ対象外）：上記以外の工事
	工事希望型競争	０件	
	通常指名競争（港湾土木）	０件	（建設コンサルタント業務等）
	通常指名競争（空港等土木）	０件	・随意契約（簡易公募型プロポーザル方式）
	通常指名競争（港湾・空等等土木以外）	０件	・指名競争
	随意契約	０件	
建設コンサルタント業務等		２件	（役務提供等及び物品の製造等）
役務の提供等及び物品の製造等		１件	・一般競争

委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回　答
	別紙のとおり	別紙のとおり

委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし

抽　出　案　件　工　事　概　要　書

	工　事　名	入札・契約方式	工事（施工）場所	上段：契約金額 （単位：千円） 下段：入札経緯	応募 業者数	入札参加 業者数
1	八戸港ケーソンヤード水位計防護管補修工事	一般競争 （ＷＴＯ対象外）	八戸港湾・空港整備事務所ケーソンヤード内	3,150 ２回目落札	3者	3者
2	久慈港湾口地区防波堤消波工事（その４）	一般競争 （ＷＴＯ対象外）	久慈市長内町第４０地割地内	71,190 １回目落札	5者	5者
3	久慈港湾口地区防波堤消波工事（その５）	一般競争 （ＷＴＯ対象外）	久慈市長内町第４０地割地内	92,925 １回目落札	3者	3者
4	久慈港湾口地区防波堤消波工事（その６）	一般競争 （ＷＴＯ対象外）	久慈市長内町第４０地割地内	77,490 １回目落札	3者	3者
5	久慈港湾口地区防波堤消波工事（その７）	一般競争 （ＷＴＯ対象外）	久慈市長内町第４０地割地内	62,625 １回目落札	4者	4者

抽出案件建設コンサルタント等概要書

	業　務　名	入札・契約方式	履行場所	上段：契約金額 （単位：千円） 下段：入札経緯	応募 業者数	入札参加 業者数
6	東北地方における物流機能高度化検討業務	随意契約 簡易公募プロポーザル方式	－	20,916 １回目落札	3者	1者
7	仙台空港附帯施設地盤変位調査	通常指名競争方式	－	9,072 １回目落札	－	10者

抽　出　案　件　役　務　及　び　物　品　概　要　書

	業　務　名	入札・契約方式	履行場所	上段：契約金額 （単位：千円） 下段：入札経緯	応募 業者数	入札参加 業者数
8	宮古港はまぎく中間修理工事	一般競争	請負者造船所	1,680 １回目落札	4者	4者

別　紙

NO. 1

	意見・質問	回　答
1-1	定例報告 「対象期間における発注案件について」 ・特になし ただし、次回から「総合評価」の実施数を表示して下さい。	・了解しました。
1-2	定例報告 「指名停止措置の運用状況」 ・同じ事由で停止期間が異なるものがあるがなぜか ・前に指名停止を受けていると重くなるのか。	・措置基準に基づき行っていますが、競売妨害・談合では、関与の程度や携わった者の役職等によって処分に差が生じます。 ・そのとおりです。
1-3	定例報告 「工事種別ごとの再度入札における一位不動状況」 ・この資料の目的はなにか ・談合が疑われる場合の一位不動状況調査をまとめたことがあるが、今回の資料だけではサンプル数が少く資料の効果が見えないので、判断できない。	・入札談合の有無を判断する材料の一つと考えています。
1-4	定例報告 「工事種別ごとの低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況」 ・利潤率はどうみているのか	・一般管理費の計上率は工事規模により異なるため、工事の何％が利潤とは一概には言い切れません。
2-1	審　議 一般競争 「八戸港ケーソンヤード水位計防護管補修工事」 ・特になし	
2-2	審　議 一般競争 「久慈港湾口地区防波堤消波工事（その４）」 ・特になし	
2-3 -4 -5	審　議 一般競争 「久慈港湾口地区防波堤消波工事（その５）」 「久慈港湾口地区防波堤消波工事（その６）」 「久慈港湾口地区防波堤消波工事（その７）」 ・同時期に同じ内容の工事を複数発注するのは、どうしてか。 また、それぞれ落札者が異なっているが。 ・全体的にブロック製作工事の落札率が９５％程度と高いと思われるが。	・ブロックの数量が多く、限られた工期で施工するために、複数件の発注となりました。 １件の工事とした場合には、施工管理、品質管理、安全管理に支障を及ぼす恐れがあります。 ・電子入札であり、誰が参加しているかはわからないようになっています。 ・積算基準が公表されていることと、Ｈ１９年は同種工事の発注実績も多かったことから、参加企業側の積算精度が高かったことが考えられます。

	意見・質問	回　　答
	・これらの工事は、総合評価方式で落札者の決定が行われているため、断定はできない。 ・「その４工事」と「その５工事」からでは、同種工事の要件を変更しているが、その理由は。	・「その４工事」までの要件設定は、型枠を完成形に組み立ててから、コンクリートの打設を行う、一般的な重量（１１トン）のブロック製作を想定し、要件としていました。 １９年度に完成した同種工事において、型枠打ち継ぎ目の処理に若干問題があったことから、２０年度の施工となる「その５工事」以降からは、５０トン以上の消波ブロックの製作工事を同種要件とし、より一層の品質確保と安全管理に重点を置くこととしたものです。
2-6	審　　議 随意契約（簡易公募型プロポーザル方式） 「東北地方における物流機能高度化検討業務」 ・見積もり金額が予定価格に近いが。	・公募の公示段階で業務の概算金額を示しており、その金額を目安として技術提案書を作成することとなっています。 また、あわせて参考見積書も求めています。 そのため、国が算定する予定価格との開差は少なくなるものと判断しています。
2-7	審　　議 通常指名競争方式 「仙台空港附帯施設地盤変位調査」 ・本業務は低入札に該当しているが、その理由について。 ・受注者以外にも、２者が低入札となっているが同じか。	・業務実績を確保したいという受注意欲の強い表れから、間接費の縮減に努めたものと判断されます。 ・そのとおりです。
2-8	審　　議 一般競争方式 「宮古港はまぎく中間検査修理工事」 ・特になし	